学校だより
☆輝き☆
伊達市立星の丘小中学校
第４号
令和７年７月24日

学校教育目標

〈徳〉やさしく～夢を持ち続ける子の育成
〈知〉ただしく～自ら進んで学ぶ子の育成
〈体〉たくましく～最後までやりとげる子の育成

学びに向かう力と『センス・オブ・ワンダー』

校長　福岡　雄司

本日で、７４日間にわたる１学期が終了します。この期間を通じて、子どもたちは学校生活の中で多くのことを学び、それぞれの個性を発揮して活躍する場面が多く見られました。これも、バウムハウスの職員の皆様やサポートチームをはじめとする地域の皆様など、多くの方々のご支援のおかげです。心より感謝申し上げます。

さて、この１学期、中学校３年生の教室ではアリを、小学校６年生の教室では見つけてきたダンゴムシを飼育していました。それを受け入れ、見守る先生方の姿勢も素晴らしいものでしたが、特にダンゴムシの飼育においては、子どもたちが主体的に調べたり、協力して世話をしたりする様子が見られました。また、小学３年生の理科では、モンシロチョウの幼虫がさなぎ、そして成虫へと変化する様子について目を輝かせて観察していました。

そのような子どもたちの姿を見て、アメリカの海洋生物学者レイチェル・カーソンの著書『センス・オブ・ワンダー』を思い出しました。「センス・オブ・ワンダー」とは、自然や身の回りのものに神秘や不思議を感じ、驚きや感動を覚える感性のことです。本書は、レイチェルが甥のロジャーと共に海辺や森を探検し、動植物や星空を眺めた体験をもとに書かれています。その中でレイチェルは、誰もが子ども時代にもっていた自然の美しさや神秘に感動する感性を大切にし、大人になっても失わないようにすべきだと説いています。

万有引力の法則を発見したアイザック・ニュートンも、「なぜ意志に応じて体が動くのか」「なぜ動物は本能に従って行動するのか」と問い、この世界の不思議さに感動する感性をもっていました。

現在の学校教育において、子どもたちに育んでほしい資質・能力の一つに「学びに向かう力」があります。この「学びに向かう力」とは、主体的に学習に取り組む中で身に付けた知識や考え方を、どのように活用していくかという力です。自分の興味・関心をもとに目標をもち、自分に適した方法へと見直しながら学習を進めることで、新たな学びへとつなげ、さらなる知識・技能・考え方を獲得したり、表したりすることが求められます。また、学習や生活の中で、多様な個性を理解し合いながら協力する力や、優しさ・思いやりといった人間性も重要です。

将来、子どもたちが社会の中で生きていくために、お互いの違いを尊重しながら多様な経験を積み、それぞれの得意分野を伸ばしていってほしいです。同時に、苦手な分野にも向き合い、バランスの取れた力を身に付けてくれることを願っています。

明日から３２日間の夏休みに入ります。子どもたちはきっと、たくさんの疑問や不思議に出会うことでしょう。学校では体験できない貴重な経験を通して、「センス・オブ・ワンダー」を育んでほしいと願っています。そして私たち大人も、この夏を「不思議を感じる感性」を磨く時間にしてみませんか。

修学旅行　in　函館

７月３日（木）～４日（金）に小学６年生が函館へ修学旅行に行きました。１日目は函館朝市・はこだてみらい館・五稜郭公園・五稜郭タワー・保護猫カフェを見学しました。そしてタ食後に函館山からの夜景を楽しみました。

２日目は函館公園と公会堂を見学した後、元町を散策し、金森倉庫・ラッキーピエロでの昼食を楽しみ、函館の地を後にしました。

たくさんの施設での見学、いか釣り体験や保護猫とのふれあいなど思い出深い修学旅行となりました。見学時のあいさつや集団行動が立派でした。

地域学習・ウポポイ体験学習

７月４日（金）、中学生が総合的な学習の時間に地域学習の一環として、ウポポイ（民族共生象徴空間）で体験学習を行いました。

予定より少し早めに到着し、ムックリの演奏体験を行いました。職員の方から教わりながら、それぞれが一生懸命に音を出そうと頑張っていました。

伝統芸能上演（歌や踊り、楽器の演奏など）を楽しんだ後は、お待ちかねのアイヌ料理体験でした。初めて食べる料理に、なかなか箸が進まない生徒もいましたが、多くの生徒がおいしくしっかりと食べていました。

最後は国立アイヌ民族博物館の見学でした。それぞれ興味をもって、時間ぎりぎりまで見たり触ったりしており、大変良い学びになったのではないでしょうか。

8月行事予定

【夏季休業　７月２５日～８月２５日】

１２日　学校閉庁日　～１５日
２５日　小中部会・研修日
２６日　２学期始業式
※12:00 下校（給食なし）
２８日　学力テスト（中）
２９日　児童生徒会
３０日　市Ｐ連研究大会

困ったときの相談窓口

〇本日、「主な相談窓口（北海道）」を配付しました。何か困ったことや心配なことがありましたら、気軽に御活用くださ
〇本校の児童生徒性暴力等に関わる相談窓口を、管理職ならびに養護教諭としています。何かありましたら御相談ください。

縄文文化を学ぶ　北黄金貝塚見学

７月１１日（金）、６年生が北黄金貝塚の見学学習を行いました。貝塚や住居など、ガイドさんからの説明をしっかりと聞き、縄文人の生活について学ぶことができました。また、勾玉づくり体験にも集中して取り組み、自分だけの勾玉をつくることができました。

いのちの学習（がん教育）

７月 15 日（火）に中学生を対象とした「いのちの学習」が行われました。伊達市健康推進課　保健師　永森　茉佑様を講師として迎え、生活習慣病のひとつである、がんについてお話いただきました。

聞いたことはあっても、がんという病気やその予防方法など知らないことも多く、これからの生活に関わる大切な学びになりました。